

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年2月12日
【会社名】	株式会社ブレインパッド
【英訳名】	BrainPad Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 草野 隆史（戸籍名：高橋 隆史）
【本店の所在の場所】	東京都港区白金台三丁目2番10号
【電話番号】	03-6721-7001（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 石川 耕
【最寄りの連絡場所】	東京都港区白金台三丁目2番10号
【電話番号】	03-6721-7001（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 石川 耕
【縦覧に供する場所】	東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【提出理由】

当社および連結会社の財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項ならびに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号および第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

平成27年2月10日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

当社の連結子会社である株式会社ミディーならびに持分法適用関連会社である株式会社Qubitalデータサイエンスにおいて、それぞれ次に掲げる事象が発生したため、以下の損失を計上いたしました。

株式会社ミディー

株式会社ミディーは、店舗内での消費者の購買行動を映像やセンサーからデータ化するビジネスに特化した企業であります。平成25年8月の同社の連結子会社化以降、同社は、3Dセンサーによる店頭購買行動の全自動分析サービスの立ち上げに向けて先行投資を続けてまいりましたが、このたび、現在の事業の状況をふまえて事業計画の見直しを行い、直近での投資費用の回収が困難であると判断し、子会社化の際に発生したのれんおよび同社が保有する固定資産に係る減損損失を、連結財務諸表の特別損失として計上いたしました。

また、同社の事業立ち上げのための資金として当社が同社に融資した貸付金に係る貸倒引当金繰入額および同社株式に係る関係会社株式評価損を、個別財務諸表の特別損失として計上いたしました。

株式会社Qubitalデータサイエンス

事業の立ち上げ期にある持分法適用関連会社株式会社Qubitalデータサイエンスの直近の業績に基づき、持分法による投資損失を、連結財務諸表の営業外費用として計上いたしました。

(3) 当該事象の損益に与える影響額

個別財務諸表

当該事象により、平成27年6月期第2四半期決算の個別財務諸表において、貸倒引当金繰入額85百万円および関係会社株式評価損18百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、当該貸倒引当金繰入額および関係会社株式評価損は、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

連結財務諸表

当該事象により、平成27年6月期第2四半期決算の連結財務諸表において、減損損失69百万円を特別損失として計上するとともに、持分法による投資損失35百万円を営業外費用として計上いたしました。

以 上